

# 放課後の「おうち」を よりよい場所にするために ～宮城県学童保育ネットワーク～

保護者が仕事などで昼間家にいない小学生が、放課後を過ごす「放課後児童クラブ」。みなさんやお子さんがお世話になった方も多いのではないのでしょうか。子どもたちは「今日は何して遊ぼう？」と目を輝かせ、指導員の先生はあたたかくそれを見守ります。

このような放課後児童クラブなど、県内で学童保育に関わる人たちが「学童保育の地域差をなくしたい」と2017年に設立した宮城県学童保育ネットワーク。子どもたちがより健やかに育つための学童保育の向上を目指しています。現在は、指導員向けはもちろん、保護者や関心のある人向けの勉強会や情報交換会などを行ってしています。最近では「会員になりたいのですが...」「何か情報ありませんか？」と声をかけられることもあるそうです。

「保護者のみなさんなど多くの大人が関わることで保育の質が上がり、子どもたちの成長につながります。指導員だけでなく、多くの方に学童保育に興味を持ってもらいたいです」とメンバーのみなさんは話してくれました。



ポロシャツやクリアファイルにも載っている団体のロゴマーク「政宗くん」。宮城っぽいのキャラクター、学童保育に通っていた小学生の作品だそうです。



昨年11月には、たがさぼでも学習会を開催。指導員だけでなく保護者など多くの方が参加しました。



取材の様子。「学童保育には、人とつながる楽しさがある」「学童保育は子どもたちが安心できる第二の家であり、また保護者が相談できる場でもあります」とメンバーは語ります。

宮城県学童保育ネットワークへの  
お問い合わせはこちらまでどうぞ！

団体連絡先: miyagi.gakudou@gmail.com

## ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します！

- 2019年3月14日(木)掲載 / みんなで子どもを支え合う「NPO法人子ども∞感ばにー」
- 2019年3月26日(火)掲載 / データで見る多賀城～多賀城の子どもの推移～
- 2019年3月28日(木)掲載 / 使わなくなったランドセルをネパールの子供たちに届けよう。

### “たがさぼPress”とは？

たがさぼスタッフによるブログ。興味がわいたら「たがさぼPress」へ！  
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



## “tag”のアンケートのお願い

今後の誌面づくりの参考にしたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いします！  
また、以下のような情報もお待ちしております！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

## たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

### 「たがさぼ文庫」のご案内

たがさぼの図書スペース「たがさぼ文庫」に新しい本が入りました。NPOや町内会についての本など普段あまり目にしないものもあり、何かをはじめきっかけになるような一冊と出会ったり、活動の参考になるようなヒントや新たな視点も得られます。一部をのそいで借りることもできますので、ぜひご利用ください。

新しい本が入りました！ /

- 広がる協働
- 男であれば、女になれない
- あたらしい「路上」のつくり方
- どこまでやるか、町内会
- 人物図書館
- 広瀬川の夏やすみ

### たがさぼ文庫 本の借り方

- 1- 利用者登録
- 2- 窓口で貸出カードに記入
- 3- 借りられるのは一回に2冊まで
- 4- 2週間以内に返却



# 困っている人へ届けたいという共通の想い ～Curves(カーブス)×NPO法人いのちのパン～

「地域のために何かしたい」その想いは、企業もNPOも同じです。この二つが連携し、互いの持っているものを活かすことで地域がより元気になります。今回はたがさぼが仲立ちをして、企業とNPOの想いがつなげた事例をご紹介します。

二つの想いが  
カタチになったよ



## 1 Curves(カーブス)の「想い」

女性の健康体操教室を運営するカーブスは、2007年より会員から食料を集めて寄贈するフードドライブ\*を毎年行っています。そのきっかけは、日本でも日々の食べ物に困っている人が予想以上に多いことを知り、地域密着型の店舗展開をする中で取り組むべき大事なテーマと考えたことでした。12年目となる2019年は、全国で約256トンの食料が集まり、全国750の児童養護施設や障がい者施設、母子福祉施設、フードバンク\*に取り組む団体などに届けられました。



カーブスでは今年も、1月15日～2月15日の1カ月間、食料を集めて各所へ寄贈しました。

## 3 つながる二つの「想い」

宮城県内のカーブスのうち14店舗は、株式会社井上がフランチャイズ経営をしています。今回、多賀城市内の城南店、笠神店で集めたダンボール約10箱分の食料を、NPO法人いのちのパンに寄贈しました。カーブスの地域貢献への想いやフードドライブに参加した会員のみなさんのアクションと、NPO法人いのちのパンが支援している生活困窮者のニーズがつながった瞬間でした。

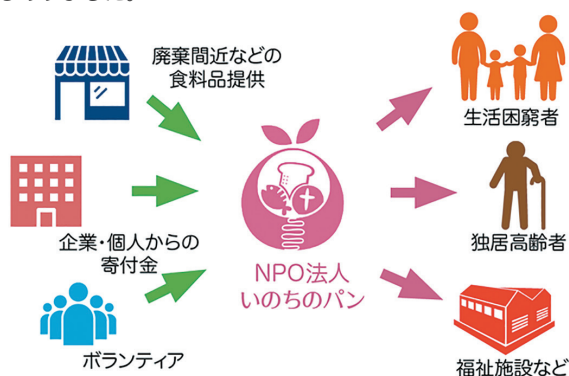
株式会社井上の千葉さんは「会員さんが毎年心を込めて食料を持ってきてくれるので、本当に必要としてくれるところに届けたい。来年以降も団体への寄贈を続けたい」と話していました。



2月22日、カーブススタッフ(左から、NPO法人いのちのパンスタッフ(右)へ、食料が寄贈されました。

## 2 NPO法人いのちのパンの「想い」

NPO法人いのちのパンの活動は、東日本大震災後の被災者支援がはじまりでした。活動の中で、特に生活困窮者に食料を届けることの重要性を感じ、フードバンク活動を行うNPO法人いのちのパンを2014年に設立しました。現在も多賀城市のほか、震災被害の大きかった東松島市、仙台市若林区・宮城野区、亶理町、南三陸町などを中心に食料を届けています。支援を継続するにあたって、食料が足りずに団体の活動資金で購入して届けることもありました。



(団体ホームページより)  
NPO法人いのちのパンの活動の概要

## 4 「想い」をつなげ、得意なことを持ち寄りながらともに動く

たがさぼでは、2017年度に多賀城の企業の地域貢献活動調査を行い、企業やNPO、地域がつながることで困りごとを解決するきっかけづくりをはじめました。その中で今回、企業の地域貢献への想いと地道な支援活動を続けているNPOがつながり、生活困窮者への持続可能な支援につながりました。このような連携の輪が大きくなることで、より暮らしやすい地域になっていきます。たがさぼでは、企業、NPO、自治会・町内会がお互いの困りごとや得意なことを出しあい、連携するためのコーディネートを行っています。地域づくりや社会貢献などでお悩みや困りごとがありましたら、たがさぼにぜひご相談ください。

詳しくはこちらも  
ご覧ください

いのちのパン 検索

カーブス フードドライブ 検索

たがさぼPressでも  
取り上げました!

「企業のフードドライブの取り組み×団体の  
フードバンク活動」-2019年3月1日(金)掲載

### < \*用語解説 >

フードドライブ...家庭で余っている食品を持ち寄り、寄付する活動

フードバンク...まだ食べられるにもかかわらず、廃棄されてしまう食品(例えば、製造工程で発生する規格外品)などを引き取り、支援が必要なおところに届ける活動